



こんにちは

日本共産党

堺市会議員の

城 勝 行 だす

2006年 6 月/No. 2
南区美木多上322
Tel 297-1777
日本共産党議員団
地域連絡事務所

代表質問で取り上げたテーマ

- 教育基本法改定について
- 教職員の評価育成システムについて
- 養護教育の充実について
- 図書館への指定管理者制度導入問題
- 市職員の人員・人事政策について
- もず古墳群の世界遺産登録と超高層マンション建設について
- 認定こども園について
- 公立保育所民営化問題について
- 障害者自立支援法実施されて・・・
- ペットボトルのリサイクルについて

城勝行

石谷花子議員

堺東駅東側に超高層マンション もず古墳群の世界遺産大丈夫？

6月12日から14日
代表質問

城勝行・石谷花子議員が質問

六月十二日に城勝行が、十四日には石谷花子議員が党を代表して、国政に関わる問題から暮らしの問題まで十一項目の質問をしました。

えらい矛盾でっせ！市長さん

市長は、昨年の選挙でもず古墳群を世界遺産に登録すると公約し準備を進めています。ところが、堺東駅東側車庫跡地に高さ百五十五メートルの超高層マンション建設の計画があることから、世界遺産登録に大きな支障になることが懸念されています。建設予定地に隣接する地域は、閑静な住宅街で都市計画五十以上の建物が建てられない地域であり、また、活断層が真下にあるなどのことから周辺住民が見直しを求めています。私は、既に世界遺産登録されている広島原爆ドームは周辺にビルが建ち危機遺産リストに登録される可能性があること、ドイツケルンの大聖堂が既に登録されたことや

堺市歴史文化都市有識者会議委員の宗田助教授が「世界遺産登録に超高層の影と題した報道番組でコメントした内容を紹介した市長に適切な

城勝行プロフィール

1957年9月8日生まれ(現在48才)
堺市美木多に生まれ育つ
美木多小学校卒業(児童会会長)
福泉南中学校卒業(生徒会会長)
府立泉大津高校卒業(自治会会長)
耳原病院勤務(1976年から1991年)
耳原病院労働組合書記長
美木多小学校PTA役員
美木多連合子ども会役員
1991年議員初当選以来連続4期
(現在)
党議員団幹事長・議会運営委員
文教委員・農業委員(4期)
社会福祉審議会委員
大都市行財政制度特別委員会委員
少子高齢化・障害者対策特別委員
など



行政指導を求めました。さらに、専門家による地質調査結果が事業者によって一部削除された可能性があると指摘しました。問題は、このようなマンションが十以上

上の建物を認めない閑静な住宅街の隣接地に建設できるのかです。それは、堺市が堺東駅西地区再開発推進のために都市再生特別措置法の指定を受けた際、わざわざ駅東側南海電鉄車庫跡地を開発区域に含めたからです。市長は、自ら大規模開発を進めるために建ぺい率や容積率が無

宗田助教授(京都府立大学)の話

「あえて今から登録をめざす遺産のなかに高層ビル、そして、そもそも地元の反対がある状況では、まあ絶望的ですね」「世界遺産をもっている町の人には歴史を大切に思う気持ちを、まち街づくりと態度をもって示す必要がある。堺のスタンスが今問われている」

〈5月23日夕方6時半放映〉

MBSテレビVOICE特集より

制限になる特別区域の指定を進めておきながら、一方で、開発者に高さへの配慮を求めるといったのは二律背反、全く矛盾するものです。開発区域の指定を受けなければ、このような高層マンションは建てられないのであります。

重大な岐路に立つ日本

憲法九条をかえるための国民投票法、こどもに愛国心押し付ける教育基本法改悪、そして、自衛隊法も……。いったいどうなっているのか！



廃案に追い込みもつー！

国民投票法・教育基本法・共謀罪法・自衛隊法などを改悪・制定する法案が継続審議になりました。しかし、秋の臨時国会で強行が狙われています。

政府は、憲法九条を変えて「日本を戦争する国」に変えようとしています。先の国会でそのための国民投票法案を提出しました。さらに、教育基本法改悪も……。

憲法改定の狙いは九条を廃止すること

「現在の憲法は時代に合わない」などとしきりに宣伝して自民・公明そして民主党までもが改憲を求めています。その狙いが「九条」を変えることにあることは、国会論戦でも明らかです。憲法を変える手続きを決める法律が国民投票法なのです。

教育基本法までも変える危険な狙い

「教育の目標」に「国や郷土を愛する態度を養う」な

どの徳目を設けています。「愛するとか、その態度」などは全く個人の自由なものであり、誰も介入できません。十条

には「教育は、この法律及び他の法律に基づいて……」などを新たに盛り込み、教育基本法以外の法律や政省令で国家が教育に介入できる仕組みを作ろうとしています。



自衛隊法も……

会期最終盤に、海外派遣している自衛隊の業務を本来業務に強化することや防衛庁を防衛省に格上げする法案も提出されました。

国民の暮らしは……

「府市民税が何倍にも跳ね上がった」「作業所に通うのに利用料が一ヶ月二万円以上もかかる、これではもう作業所に行けない」「病院から退院を言われているが行き場がない」など悲痛な声がたくさん寄せられます。

いったいどうなってるの

アメリカ軍には三兆円もの税金をつぎ込もうとする。大企業には大儲けの手助けをする。ところが、国民には増税や介護保険の見直し、障害者自立支援法により多大な負担の押し付け、さらに、医療の大改悪までも強行する。まったくひどい話です。

こんな間違った政治を正しましょう

強きを助け弱きをくじく、こんな政治は間違っています。今、日本は、戦争への道を選ぶのか、それとも憲

法九条(戦争放棄と二十五条(生存権の保障)を守り生かす道を選ぶのかが問われています。結論はおのずと明らかです。大きな世論で悪法をはね返しましょう。

